

出発式で決意の言葉を述べる長南佳洋主将(手前右)ら八学
光星ナインは30日午前6時40分ごろ、八戸市のJR八戸駅前



「大旗必ず」いざ甲子園

光星ナイン八戸出発

8月5日に兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕する、第100回全国高校野球選手権に出場する八戸学院光星高校ナインは30日午前、八戸市のJR八戸駅から現地に向け出発した。同日午後、大阪府の宿舎に入り、初戦に向けた調整を始める。

同駅前で行われた出発式では、教職員や地域住民らが見守る中、制服姿の選手が整列。小野崎龍一校長が「県大会優勝を決めてから1週間でより頼もしい顔つきになった。(全国制覇という)君たちの決意が私たちの願い。仲間を信じて最後の最後まで戦い抜いてほしい」と激励した。

ナインを代表して長南佳洋主将は「多くの方々の支えがありここまで来られた。東北の悲願である優勝旗を八戸に持って帰ってくる」と決意を表明。仲井宗基監督は取材に「まずは一

戦必勝。今年は特に(現地在)暑いということなので早めに体をなじませていきたい」と話した。

(高松拓輝)